

全国安全週間（本週間：7月1日から7月7日まで、準備期間：6月1日から6月30日まで）における労働災害防止活動の推進のため宮城労働局が主催した「全国安全週間公開安全衛生パトロール」「産業安全衛生宮城大会」の概要をお知らせします。

宮城労働局（局長 松瀬貴裕）では、安全衛生管理活動の活性化を図り、建設三大災害の防止及び熱中症の防止対策の状況を確認するとともに、管内の事業場における労働災害防止を推進することを目的に、令和8年7月2日（木）、宮城労働局長による公開安全衛生パトロールを実施しました。

パトロールの対象現場は「仙台市役所本庁舎整備第1期建築工事（大林組・鉄建建設・仙建工業・深松組共同企業体）」で、市民の関心も高いことから、現場で作業にあたる工事関係者の皆さんに向け松瀬局長から「労働安全の徹底のもと、無事竣工を迎えていただきたい」と激励し、現場を点検しました。

令和8年7月6日（月）には産業安全衛生宮城大会を開催し、表彰、大会宣言、行政説明、講演を執り行いました。行政説明では松瀬局長が「企業内リスキリング（職業能力開発）について」と題して、職場における学び・学び直しの重要性を説明しました。

市役所建設に携わる工事関係者の皆さん



パトロールで
激励する松瀬局長



巡視の様子

表彰の様子



大会で説明する
松瀬局長



関係者含め580人が参加